

平成24年度

**「地域連携型インターンシップ」
アンケート集計結果（学生対象）**

**北九州地域産業人材育成フォーラム
H24年 10月 25日**

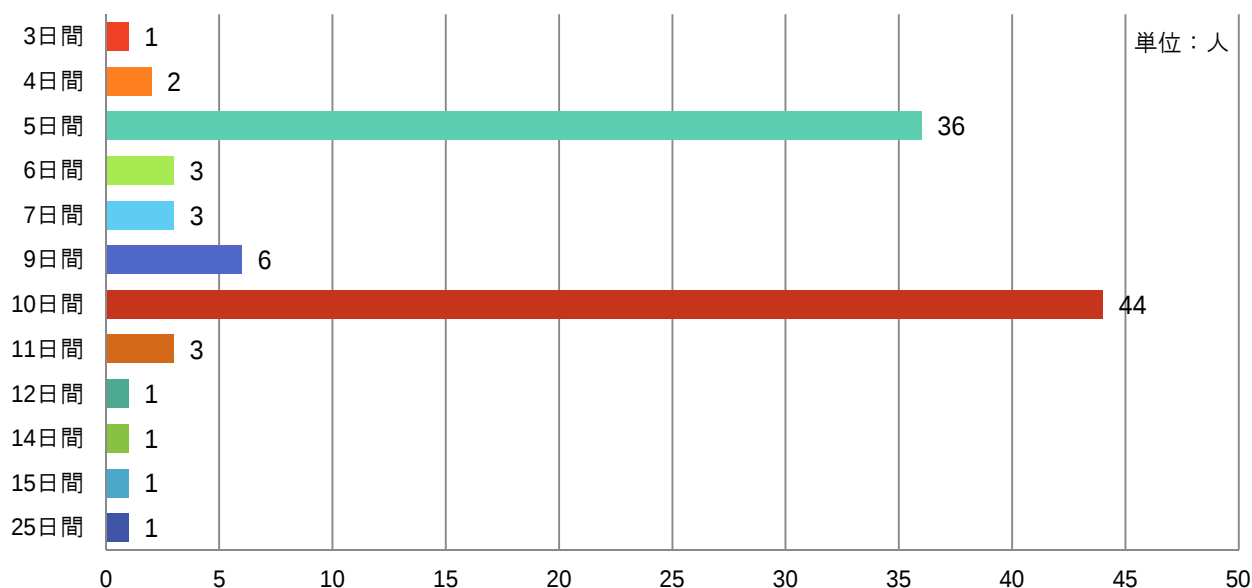
1. アンケート概要

実施期間：H24年 9月1日～10月19日

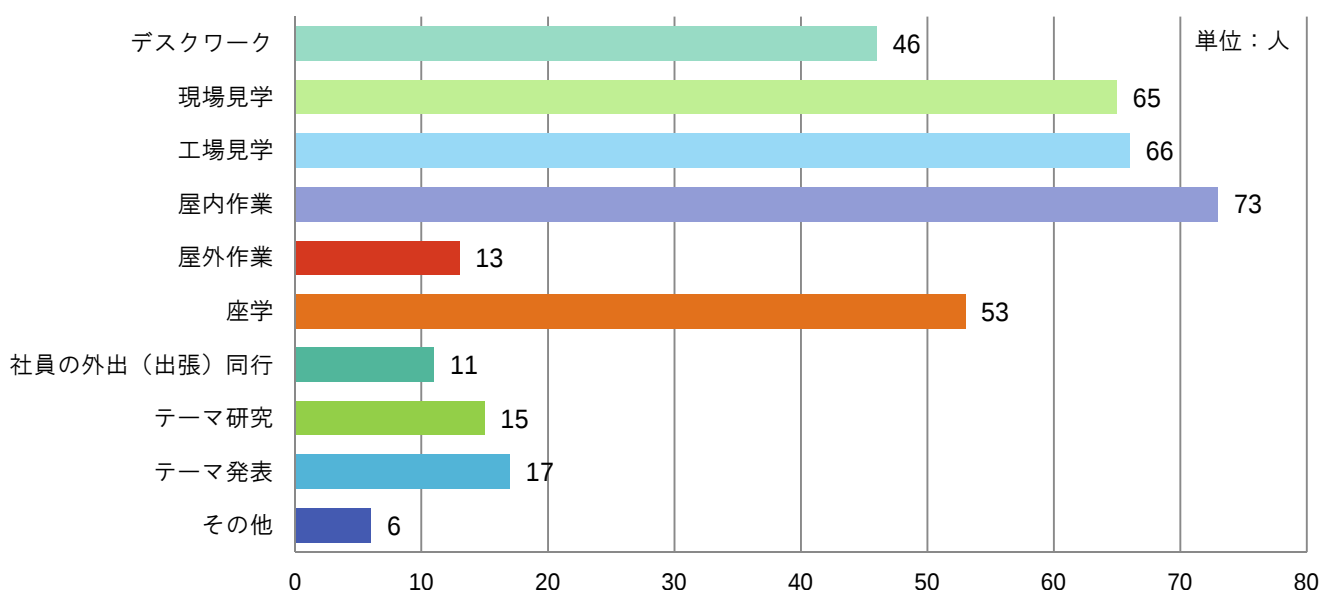
対象者：H24年度 インターンシップ参加学生 121名
(九州工業大学、北九州市立大学、西日本工業大学、北九州高専)

回答数：102名 (回収率 84.3%)

2. 実習日数（実働日数）について



3. 主な実習内容について（複数回答可）

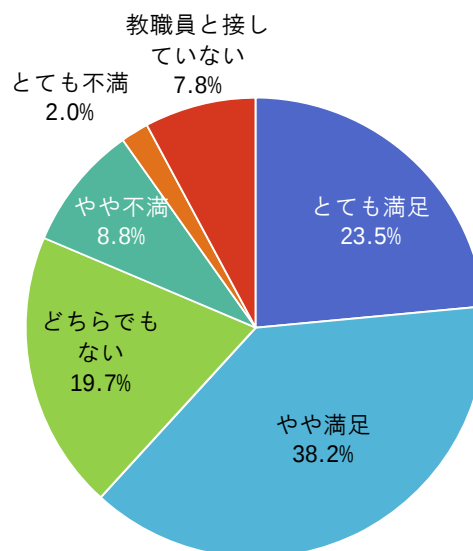


《 その他 》

◆製造 ◆面接 ◆発表会聴講 ◆レポート作成 ◆試験・検査 ◆研修報告会

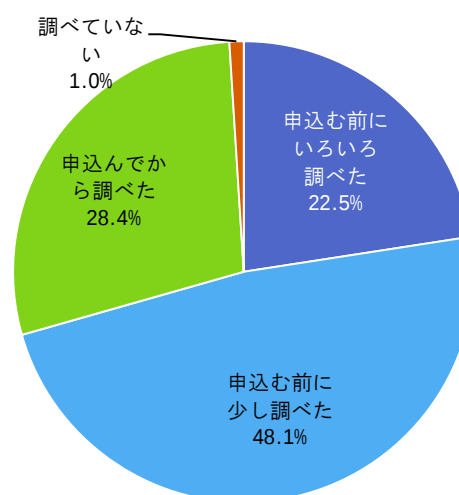
4. 実習前の情報提供について

	人数
とても満足	24
やや満足	39
どちらでもない	20
やや不満	9
とても不満	2
教職員と接していない	8



5. 実習前の企業研究（下調べ）について

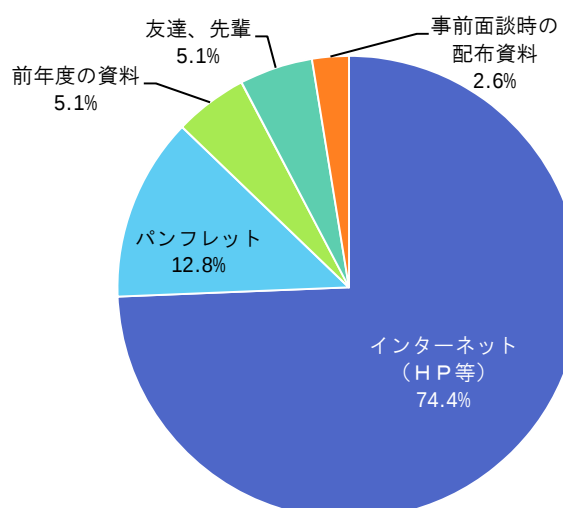
	人数
申込む前にいろいろ調べた	23
申込む前に少し調べた	49
申込んでから調べた	29
調べていない	1



6. 調べた手段（複数回答可）

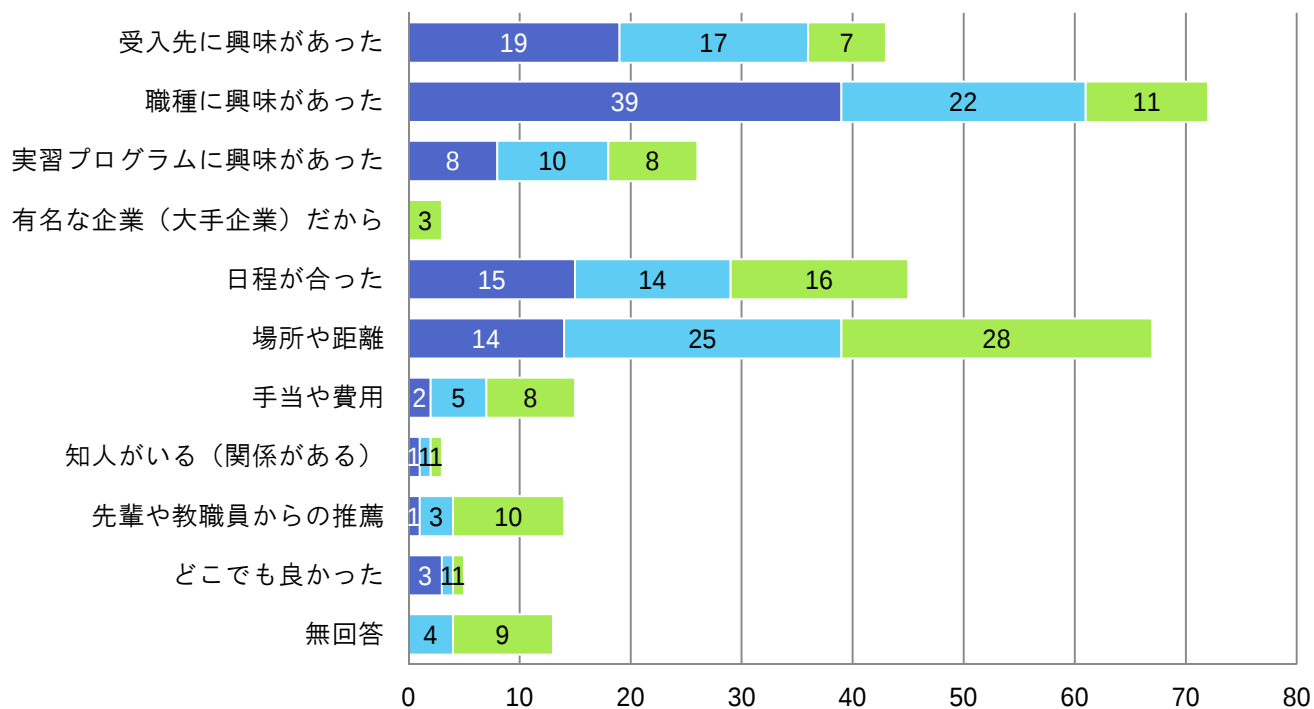
※九工大、北九大の学生のみ回答

	人数
インターネット(HP等)	29
パンフレット	5
前年度の資料	2
友達、先輩	2
事前面談時の配布資料	1



7. 実習先の選択理由について（優先順位1～3位を回答）

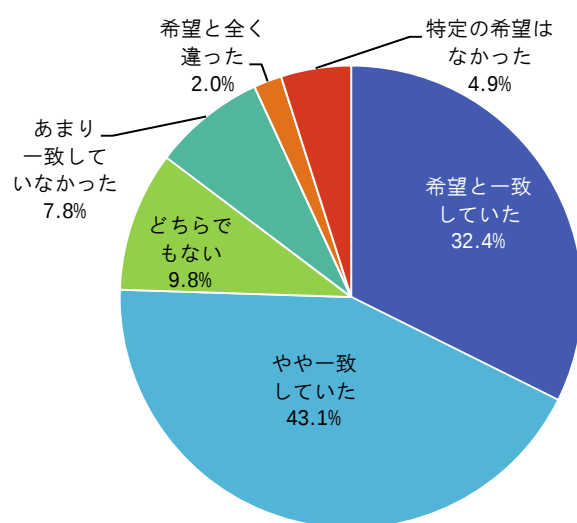
単位：人



	無回答	どこでも良かった	先輩や教職員からの推薦	知人がいる（関係がある）	手当や費用	場所や距離	日程が合った	有名な企業（大手企業）だから	実習プログラムに興味があった	職種に興味があった	受入先に興味があった
■ 1位	0	3	1	1	2	14	15	0	8	39	19
■ 2位	4	1	3	1	5	25	14	0	10	22	17
■ 3位	9	1	10	1	8	28	16	3	8	11	7

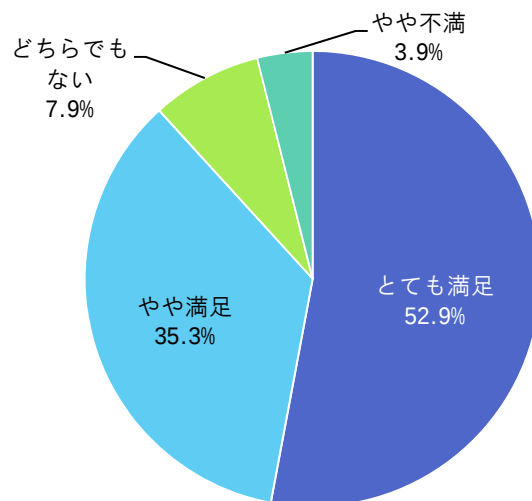
8. 実習内容と希望の一致度について

	人数
希望と一致していた	33
やや一致していた	44
どちらでもない	10
あまり一致していなかった	8
希望と全く違った	2
特定の希望はなかった	5



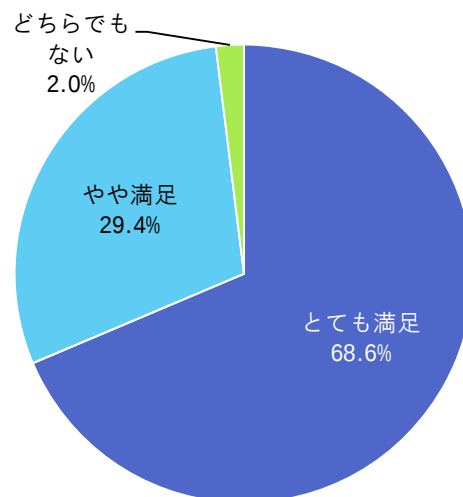
9. 実習初日の説明やガイダンスの満足度

	人数
とても満足	54
やや満足	36
どちらでもない	8
やや不満	4
とても不満	0



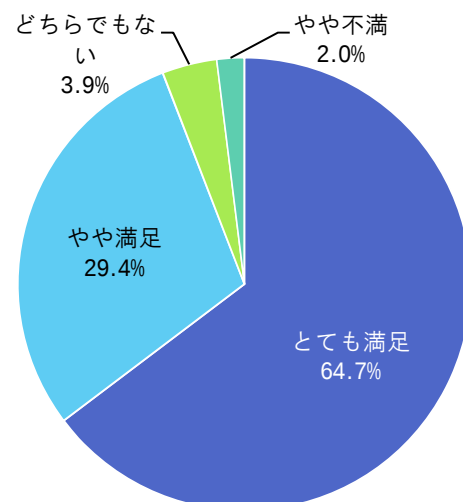
10. 実習中の指導や対応の満足度

	人数
とても満足	70
やや満足	30
どちらでもない	2
やや不満	0
とても不満	0



11. 総合的な満足度

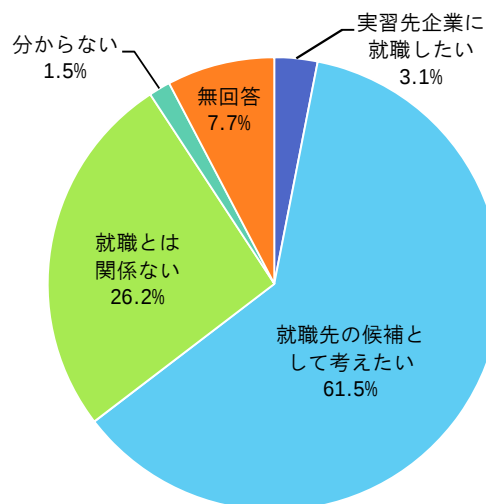
	人数
とても満足	66
やや満足	30
どちらでもない	4
やや不満	2
とても不満	0



12. 実習企業を就職先対象と考えますか？

※九工大、北九大の学生のみ回答

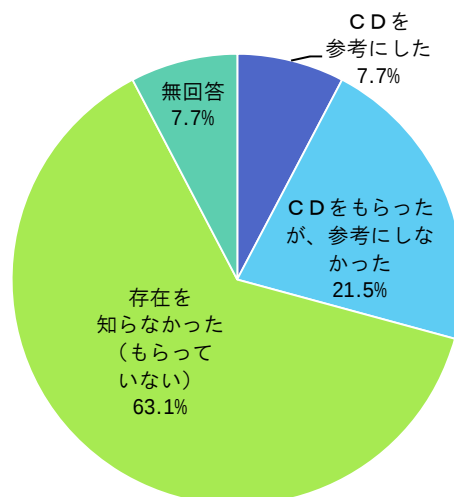
	人数
実習先企業に就職したい	2
就職先の候補として考えたい	40
就職とは関係ない	17
分からない	1
無回答	5



13. 「インターンシップガイドCD」の活用について

※九工大、北九大の学生のみ回答

	集計
CDを参考にした	5
CDをもらったが、参考にしなかった	14
存在を知らなかった(もらっていない)	41
無回答	5



14. インターンシップ参加動機について (自由筆記)

- ◇ 就職活動の一環として (27件)
- ◇ 「仕事」「働く」「企業」ということを知りたい。(働く意識を高める) (25件)
- ◇ 経験したい。(社会経験) (16件)
- ◇ 自分が興味を持つ企業、業種、職種について知りたい。(16件)
- ◇ 学ぶことの意義を実感したい。(4件)
- ◇ 実習内容に興味があった。(4件)
- ◇ インターンシップセミナーや先輩からのアドバイスで興味を持った。(4件)
- ◇ 進路(就職、進学)の参考にするため。(3件)
- ◇ 企業研究に活かしたい。(2件)
- ◇ 地元の企業を知りたい。(2件)
- ◇ 自分の得意分野、向いている分野、やりたい仕事を明確にしたい。

15. 実習前の期待や不安について（自由筆記）

《期 待》

- ◇ 実際に「働く」ことを体験できる。（5件）
- ◇ OB・OGを含む、社員の方々からの話を聞くことが出来る。（3件）
- ◇ 興味がある事業内容で、何を学ぶことが出来るか。
- ◇ 新しい知識を得ることが出来る。
- ◇ 実習生同士の交流

《不 安》

- ◇ 実習をこなすことが出来るか。（自分の知識不足）（32件）
- ◇ 社員や他の実習生とのコミュニケーション（20件）
- ◇ 社会人マナー（言葉遣い、礼儀、遅刻）（15件）
- ◇ 失敗などで、社員の方々に迷惑をかけるかもしれないこと。（11件）
- ◇ 実習企業の雰囲気や環境。（11件）
- ◇ 実習内容が事前に分からなかったこと。（8件）
- ◇ 事前の準備不足。（2件）
- ◇ 交通手段
- ◇ 語学力（留学生）
- ◇ 他に実習生がおらず、一人での実習になること。
- ◇ 受入れ決定がギリギリだったこと。
- ◇ 特になし（6件）

16. 実習で得たもの（自由筆記）

- ◇ 企業の雰囲気や実際の業務内容などを知ることが出来た。
- ◇ 業務を行う際のスキルや技術的知識、業界に関する知識などを学んだ。
- ◇ 社会人基礎力の重要性を再認識した。（ビジネスマナーやコミュニケーション能力など）
- ◇ 仕事に対する価値観ややりがいを感じる事が出来た。
- ◇ 働くことの厳しさや楽しさ。（ものづくりの楽しさなど）
- ◇ 学生と社会人との考え方の違い。
- ◇ 将来就きたい仕事が明確になった。
- ◇ 今まで学んだことが社会で活かされていることを実感した。
- ◇ 就職活動において、新たな方向性や目標が生まれた。
- ◇ 社会人となってからの目標が出来た。
- ◇ 学生生活をどのように過ごすべきか、身に付けるべきことを自覚した。
- ◇ 企業が求めている人材像を知ることが出来た。
- ◇ 大学にはない設備や施設を見学出来た。
- ◇ 社会人の方々の経験談を聞くことが出来た。
- ◇ 社会人になるという心構え。

17. 実習前後での考え方の変化（自由筆記）

- ◇ 行く前は、企業が堅苦しくギスギスして、売上がどうのこうのみたいなイメージがあったんですが、新入社員への教育やアットホームな感じで、企業に対する見方が変わった。
- ◇ 実習前、日本の企業では無給残業の場合があまりないと思った。実習中、会社の人々は締切まで無給残業で結果を出せるように頑張っていました。
- ◇ 学校で学んできた知識を活かせる仕事、自分の興味がある仕事に就きたいという気持ちが強くなりました。
- ◇ 実習へ行く前に、企業の方は厳しく、真面目だと思っていました。実習へ行った後は、戸畑ターレット工作所の皆さんは、大変親切、優しかったです。会社は非常に良い雰囲気があります。
- ◇ ・自分には設計職が向いているか分からなかったが、実習により設計職の楽しさがわかり、設計職が自分でも大丈夫そうだと感じた。
・職場は重苦しく厳しい場所だと想像してしていたが、実際は笑い声が聞こえたりして、明るく雰囲気の良い職場に驚いた。
- ◇ 生活を規則正しくしなければならない。
大学生活がいかに甘いか。
- ◇ 企業の見方が変わった。
- ◇ 安全に対する考え方が大きく変わった。事故が起こってしまうと本人はもちろん会社にも迷惑がかかってしまうことを学んだ。
- ◇ しっかりと目標をたてるということ。
- ◇ 実習前は、職場の雰囲気は社員が作るものと思っていた。しかし、実際にマネージャー、係長、社員の方々からのお話を聞いて、職場のリーダーの考え方が大きくその団体の舵をきることが分かった。仕事の分担や与え方などで、社員一人一人の成長の仕方は左右される。課全体で見て、上司やリーダーの存在の重要さと必要性が分かった。
- ◇ 普段身近にあって、いつも使っているものを社会に出たら自分が生み出さないといけないんだと感ずるようになった。
- ◇ 正直不安でいっぱいでしたが、職場環境がとても良く、毎日楽しく過ごせたのが自分でも驚きでした。実際にその場で働くことで、社員さんと話をする中で、やりがいのある仕事がしたいなあと思いました。
- ◇ インターンシップがこんなにも過酷なものとは思わなかった。
生半可な覚悟でインターンシップはできないと思いました。
- ◇ 普段アルバイトはしているので、実習に行く前はアルバイトとそんなに変わらないだろうと思っていましたが、職種が全く違うこともあり、全然違いました。
- ◇ 仕事は、自分のやりたい職を頑張ってやっていくより、さまざまな仕事を自分なりのプラスを考えながらやるものだと思うようになった。
- ◇ 思っていたよりも親切にしてくれていた。
その反面、考えていたよりも仕事をする事の責任の重さや大切さなどを痛感した。
- ◇ 実習前までは、あまり真剣に取り組んでいない授業などもありましたが、実習を行い、授業の大切さを実感したため、今後の学習意欲がとても高まりました。
- ◇ 働くというのは、大学までのように逐一指示をしてもらうのではなく、与えられた課題に対して自分で考えて行動し、結果を導かなければならないということだと思った。
- ◇ そこまで不安に思わなくて良かった。
- ◇ 時間の使い方

- ◇ 実習へ行く前では、大手の企業とかに就職したいと思っていたけど、実習してみてこういった企業もありだと思いました。
- ◇ 行った後は、話の種としてではなく、1つの指針として考えの地盤として、この体験をおくようになりました。
- ◇ 就職に関する知識が変わりました。
今までは、研究職につくのだろうと思っていましたが、現場で実際に製品を作り上げて、とても高度な技術を持っている人を見て、実際に現場の仕事につきたいと考えるようになりました。
- ◇ 最初は、単位がもらえるからという理由が主でインターンシップに行くことにしたのですが、実際に行ってみて、会社とはこういうものかということや工場の内容を詳しくみることが出来たので、インターンシップに行かなければ絶対に分からなかったであろうことを知ることができました。
- ◇ 行く前より行った後の方が環境に対しての考え方がより深まったと思います。
- ◇ 無理をして、いい企業に入らずとも自分のやりたいことをできる企業、また、自分を認めてくれる企業に入りたいと思った。
- ◇ 思っていた以上に多くのことが人の手で行われており驚いた。そのため、オーダーメイドの難しさを実感した。
- ◇ 建設コンサルタントは、常に取引先と連絡を取り合って、要求に合わせて仕事を進めて行くことが必要であるということが分かった。現場に向かったり、度々外出することが多いイメージがあったが、それはほとんどないとのことだった。
- ◇ インターンに行く前は、コンサルタントの業務は楽しそうではなかったのですが、行ってみると楽しくて、とてもやりがいがある仕事だと思うようになった。
- ◇ 実習に行く前は、建設コンサルタントの仕事のやりがいや他のゼネコン、メーカー等との違いがはっきりとしていなかったが、実習を通して設計することの楽しさとやりがいを感じることもできた。
- ◇ 大学の勉強に対する考え方が変わりました。今までは「何でこんなことしているんだろう」という思いが強かったのですが、実際の会社では、大学で勉強したことがたくさん使われていました。勉強することは大切なことだというように思うようになりました。
- ◇ 学校で卒業したら院で勉強するか、会社で勉強するかの二択だと聞きましたが、勉強してきたことが社会で通じるとは限らないので、院に行った時にしたことが役に立つのか疑問になりました。
- ◇ 大学では、出来るだけいろんな授業を取りたいと考えるようになりました。
- ◇ 働くということで、仕事内容が一番重要だと思っていたが、インターンシップを通して、職場での人間関係が最も重要だと感じた。
- ◇ 仕事は1つだけではないので、同時進行で効率よく進めることの重要性を再認識できた。
- ◇ IT企業に対するイメージ
- ◇ <一番変化があった点について>
自分は就職して、技術営業などがいまいかと思っていたが、今回開発部で実習させていただいたところ、研究系の仕事の面白さが分かって、そういう仕事をしてみたいと思うようになった。
- ◇ 就職活動へのモチベーションが上がった。
- ◇ ・会社で求められている人材とはどんな人なのかということ
・言葉には気を付けないといけないということ
- ◇ 現場を体験することで、今まで以上に大学生活中の勉学に励もうと思った。別に現場が嫌なことないが社員さんの働いている姿を見て、自分もがんばらなくてはならないと思ったからである。

- ◇ ・情報系の企業は、1人で仕事しているイメージがあり、人間関係がサバサバしていると思っていた。しかし、全体的に和やかな雰囲気の仕事場だった。やはり、情報系といえども会社が一体感に満ちていた。
・会社に入ったら、報告書がとても重要だと実感した。今後は、大学でのレポートもしっかり書いて、レポートを書くことに慣れたいと思った。
- ◇ 「会社」のイメージが変わった。個々が働くという考え方から、集団で働くというイメージになった。
自分が大学で学んでいることが、現場で使われていた。単位を取るために学ぶのではなく、自分の力となるように学んでいきたいと考えるようになった。
- ◇ 実習に行く前は、大手企業が良いと思っていたが、中小企業も良いと思った。
- ◇ 自分の将来、どうしていきたいか 真剣に考えるようになった。
- ◇ 私が想像しているほど、人間関係が厳しくなく、楽しい仕事場もあるのだと思いました。
- ◇ 実習中に講義で習った内容を扱ったが、ほとんど覚えておらず、全く役に立たなかったのも、単位を取るためではなく、自分の糧とするために勉強しなければならないと思った。
- ◇ 行く前は、実習内容に対して考えていましたが、実習に行った後は、工場内で行う作業だけでなく、挨拶など基本的なことをしっかりと行っていくことも同じくらい重要だと考えるようになった。
- ◇ 自分が働いているイメージが少し湧いた。
- ◇ 今後はどのようにして学んでいくべきか意識することができるようになった。
- ◇ インターンシップ実習は、行ってもいいけど、あまり意味がないと先輩から聞いていましたが、行ってみて本当に良かったと思いました。
会社というものの動きを見る機会は、あまりないと思いますし、就職するとその会社のことしか分からないので、インターンシップに来て、本当に良かったと思いました。
- ◇ 大学に在籍する間に、時間を有意義に使いたいと考えるようになった。
職業や技術者に対する理解が深まり、自分も目指したいと一層思うようになった。
- ◇ 曖昧だった中小企業に対するイメージ、社会で働く人それぞれの気構え
- ◇ 社会に出て、会社の中では上司の言われたことしかできないのかと思っていたが、理解していれば自分のやりたいことも出来るということ。
また、普段の大学の座学だけでは不十分だということ。
- ◇ ・会社という存在の目的
・緊張するということによる自他への影響
- ◇ 就職活動に対して専門知識だけでなく、コミュニケーションなどが大事であること。
- ◇ 実習に行く前は、企業で行われる仕事がどのようなものか分からなかったが、少しでも雰囲気を感ずることができた。
- ◇ 実習へ行く前は、会社選びには自分の興味がひかれる仕事内容を第一基準に考えていましたが、実習中の副社長のお話を聞いて、地域と社会貢献を考えている会社の中から選びたいと考えるようになりました。
- ◇ 就職先に耐火物事業を考えるようになった。
- ◇ 会社選びは、社名ではなくやっている内容だと気付けた。
- ◇ 仕事に対する考え方が変わった。
- ◇ 大きな企業の親会社だけでなく、名の通っていない中小企業でも就職したいと思うようになりました。
- ◇ 仕事は思ったより体力を使う
- ◇ 実習へ行く前は、企業はすごく怖いと思っていたが、実際に企業で作業してみると良い人ばかりで、丁寧に教えて頂いた。そして、企業では雰囲気が良いところもあると知った。

- ◇ 実習へ行く前は、仕事といわれる物が、どれだけ難しい物かと考えていましたが、実習へ行った後は意外とそこまで難しい物ではないと感じるようになった。
- ◇ 実習へ行って正解だと思った。
- ◇ 学校でやっている勉強(主に化学)は大きく分けて2つ(速度論と反応論)であること。
これを聞いて、高専で学ぶべきことが、今まではすごく多いと感じていたが少し軽くなった気がする。
- ◇ 実習へ行く前は、業務が難しそうなど不安であったが、実習を終えた後は、やり遂げた達成感と自信を実感している。
- ◇ 情報分野の勉強をしっかりとやろうと思った。
- ◇ 企業での研究を学内研究の延長と考えていた。製造と結びついた研究には、スケールアップを見越した安全意識が働いていた。
- ◇ 学生生活を楽しもうと思った。
- ◇ 現場の先輩から、会社に入ってからへの対応の仕方や人間関係に関してのアドバイスを頂けた。社会人になった時の参考にしたい。
- ◇ 思っていた以上に働くって面白い
- ◇ 実習に行くまでは、就職して分からないことがあれば、その時に勉強すればいいものだと思っていました。しかし、今回のインターンシップで、自分の知識の無さを痛感し、このままでは絶対に困ると思いました。なので、今出来ることはなるべく今のうちに学んでいこうという心境の変化がありました。
- ◇ 自分にも相手にも分かりやすい製作をすること。
- ◇ 行く前は、実際に工場で作業しても5日間の短い期間で得るものがあるのだろうかと思ったけれども、行った後では得る物が多すぎて困るくらいだった。
- ◇ 考え方に変化はなかったが、知識は増えた。
- ◇ 今は、ほとんどの作業をコンピュータとロボットでやっているだろうと思っていたが、人の手によってしか出来ないこと、ロボットがやった方が効率がいいことで、ちゃんとバランスよく仕事が分けられていることを知って、まだまだ人間にしかできない作業がたくさんあるのかと思った。
- ◇ 実際にインターンシップを受け、部品やパーツなど目に触れない所でも一切の妥協無しで機材を使い、体験することが出来た。
実習した期間は短かったが、今回のインターンシップは貴重な体験が出来て良かったと思います。
- ◇ 大学で学んでいることが社会の役に立っているの、今後ももっとしっかり勉強しようと思った。
- ◇ 実習へ行く前は、自分の将来について漠然としていたが、実習が終わった後では、将来への方向性が決まりつつある。
- ◇ 実習前:日本の企業がどんな感じなのか分からなかった。
実習後:少しだけ分かりましたが、まだまだ時間がかかると思います。
- ◇ インターンシップに行く前は、働くという事について甘く考えていましたが、実際に働いている人達の話聞いてみると、皆さんとても真剣に努力していて、働くということの大変さを感じました。
- ◇ 責任を持って、作業を進める考え。
実習を通して、企業の内部を見ることによって、一つの企業だけではなく多くの企業や物流があるからこそ成り立っているということが理解出来ました。
- ◇ 実習を終えた後から、基礎知識が重要だと思うようになった。
- ◇ 今のままでは駄目だという危機感を持った。
- ◇ 実際の現場などで実習を行って、どんな資格を取得しておくべきかが分かり、これから何をしていくかについて考えがまとまりました。

- ◇ 自分に足りないもの
- ◇ 思っていた以上に体力のいる仕事でした。
- ◇ ①物を作る時に、一人で作っているのではないと考えるようになりました。
②会社のイメージも少し変わりました。
- ◇ 色々な面で考えが甘かったと反省しました。実習に行くまでは、自分はアルバイトで仕事というものを知っていたつもりでしたが、実際実習に行ってみて、アルバイトと社員として一日中働くことは責任感も体力もともあるものだ実感しました。働くことの大変さの考え方が変わりました。
- ◇ 会社がクライアントから依頼を受け、各部署で担当するので、一つのミスが全体に迷惑をかけてしまうため、責任感が学校と違うと思う。
- ◇ 就職活動のやる気が出てきました。
- ◇ 地味な作業でも、それが作業の効率性を上げる重要な役割を果たすことが分かった。自分の意見を主張することが大事だと思った。

18. 実習の感想（自由筆記）

- ◇ 学校で習ったことのない分野だったので、ついていけるか不安だったが、企業の方々がアットホームで優しく接してくれて、6日間がとても短く感じられた。分からないところは、丁寧に教えてくれたり、仕事に対する考え方を教えてもらったり、と企業のことを楽しく知ることができたので、行ってよかったと思った。
- ◇ 留学生として、言語の壁があっても、日本の学生のようにみられて、心から平等を感じました。専門知識が重要です。
- ◇ 行って良かったと強く思いました。
できれば、北九州地域産業人材育成フォーラム主催インターンシップの中からまた2～3社多く行けたら良いと思います。
- ◇ 今回の実習を通じて、社会人として仕事をやりはじめます。学生生活は自由度が高かった。しかし、社会人はいろいろなルールを守らなければなりません。細かいことから自分自身を厳しく要求しなければ、周りに認められません。
これから、実習経験を活かして、立派な社会人になりたいと思います。
- ◇ 働くこと、仕事とは何かを学ぶことができ、志望分野を広げる良いきっかけになりました。
- ◇ 今回、放送設備を仕様書作成から回路設計、製作ともの作りの1から10までやらせてもらった。恐らく最も充実したインターンシップだった。大変だった。
- ◇ 今回のインターンシップで社会人としてのマナーなど勉強することができました。
- ◇ 今回は話よりも作業が主で、社員の方との会話は少なかったのですが、普段では見ることのできない機材や仕事場の雰囲気を感じることができて良かったと思います。
- ◇ 自分が学びたいと思っていたこと以外にも多くのことを経験させてもらえた。実習に行ったらはじめて分かったことや今までの考え方が変わるようなことを実感できて良かった。
- ◇ 実習は他校を含めた5名で行われたので、他の大学での就職活動や授業の話が聞けた。直接実習には関係ないが、この点だけでも大きな収穫だったと思う。また、最終日には、ほぼ面識のない会社の方々に前にしてプレゼンテーションを行った。今までは授業が同じ人同士で発表をする程度の経験しかなかった。報告書作成の仕方やスライドのレイアウトなど、学ぶことが多かった。
報告会での質疑応答では、会社の方々からインターンシップの所感なども尋ねられ、しっかりと聞いてもらえていることがよく伝わり、嬉しかった。
- ◇ 今回のインターンシップでは、就職のためというよりは、社会経験を積むためにインターンシップに行くことにしました。大学の先輩が作った会社のベンチャー企業ですが、とても有意義な体験ができたと思います。自分がやりたいことがインターンシップに行ったことで少し固まってきたので、行って良かったです。

- ◇ 不安と緊張でインターンシップが近づくにつれて、行きたくないと思っていたのに、いざ行ってみると皆さん温かくて面白くて本当に楽しい2週間でした。
就活に向けてのアドバイスをいただいたり、夢に向かって背中を押していただきました。
実習で滅多にできない貴重な経験をさせていただいて、精神的にも体力的にも成長できました。
インターンシップに参加して本当によかったです。
- ◇ いろいろなことを学ぶことができ、とても勉強になった。
働くことと休みの日には社員さんが何をしているかなど仕事以外のことも聞くことができて良かった。
工場見学では、たぶんその関連の仕事をしない限りは入れないであろう高炉など、とても珍しい所につれて行ってもらい、嬉しかった。
- ◇ 5日間がこれほど長いものとは思いませんでした。自分で考え、実行していくことの難しさを知りました。
- ◇ すごくアットホームな会社で十日間楽しく実習させていただきました。
内容は私の専門分野と少し違いましたが、その分、学ぶことも多く、充実した十日間を過ごすことができました。
- ◇ 実習先の方や、同じインターンシップ生など、とても仲良く楽しむことが出来たと思う。
貴重な体験を楽しくすることが出来て、とても良かったと思う。
- ◇ 実習先の方々がとても優しく、楽しくインターンを行えました。社会でのコミュニケーションの大切さを実感できました。
- ◇ 学校ではできない実験をさせていただいたり、普段見ることのできない工場や研究施設などを見学させていただいて、とても良い経験ができた。
また、実際に仕事をさせていただいて、自分で考えて行動することが大事なんだということを感じた。
- ◇ 社員の皆様が明るく、丁寧に教えて下さったのが一番ありがたかった。
- ◇ とてもいい内容の実習でした。今後の就職活動に活かしたいと思います。
- ◇ とても皆さん良い人たちで、とても充実した実習でした。
- ◇ インターンシップの実習は10日間でしたが、行く前は長いだろうと考えていました。行ってみるとあっという間に終わりました。現場で働いている人に「どうしてワークスで働くことにしたのか」など、これからの就職活動に必要なアドバイスももらうことが出来、充実した2週間を過ごすことが出来たと思います。
- ◇ 企業というものの自体をインターンシップに行く前後でイメージが確かなものへと変わっていったので、今回インターンシップに参加して良かったと思います。
- ◇ 始めはやはり緊張しました。でも、実習先の方々はとても優しく、たくさんのアドバイスを頂くことができ、私にとってすごく意味のある時間となりました。
- ◇ 得たものは大きく、参加して本当に良かったと思っている。参加して損することは絶対にないので、ぜひとも後輩にも参加して欲しい。
- ◇ 今回、研修に参加させていただき、普段思いがけもしないようなことを多数体験することができ、大変有意義な10日間でした。
- ◇ インターンシップを通して、会社の雰囲気や仕事内容を社員の方と同じ空間にすることで体験させていただいて、本当に良かったと思う。
- ◇ 現場に連れて行ってくれたり、浄化センターに見学に連れて行ってくれたり、様々な経験をすることができた。就活の参考になった。
- ◇ 全体を通して得るものが多く、企業の方にも本当に親切な対応をしていただいた。
実習前の不安などはほとんどなくなる程、実習中は楽しむことができて良かった。
- ◇ 実習では、実際に働いている人の姿を見ることができたり、業務内容を体験したりして、大切なことや苦労していること、努力しているところなどを知ることができました。
実習を通して、「働く」ということに対するイメージをもてたので良かったと思います。
- ◇ 高卒社員が行う現場作業のみしか行わず、大卒社員の方が行う仕事は、人事の方からほんの少し伺っただけであった。そのため、仮に入社した時にどのような仕事を行うかは分からないままであったので残念である。
しかし、現場の仕事を行うことで現場の立場で物事を考えることができるため、設計を希望する自分としては良い経験になった。

- ◇ 実際に会社で働いている方の話を聞くと自分の今後の過ごし方を見直すきっかけになりました。就職活動前に自分を知るきっかけにもなると思います。
大学生活において、自由に遊べる最後の夏休みですが、時間を作って行く価値はあると思います。
- ◇ 今まで体験したことないことができて、良かったです。
- ◇ 今回のインターンシップでは、企業にとってはその内容等の一部すら理解出来ないと思われるかもしれないけど、自分にとっては本当にたくさんのことを学ぶことができました。
- ◇ 学ぶことがあまりにも多すぎて、何を書いていいかわからないくらい良い経験になった。社員の方々や他のインターン研修生と出会うことができて本当に良かった。
- ◇ 受入先の企業の方々は、とても親切でわからないことは何でも教えてくれたし、私達のためにいろいろ準備してくれていたりと、本当にありがたかったです。お話もたくさんしてくれて、就活のことや仕事への姿勢など、とても勉強になりました。
発表の場を設けて下さったので、「計画→実行→まとめ→発表」とひとつの流れを会社の一部となったような感じで体験させていただくことができました。
期待以上の収穫があったのは間違いないと思える実習となりました。
- ◇ インターンシップを通じて、人事の方や営業の方、現場の工場で働く方など、様々な人達が関わって企業というものが成り立っているということを学んだ。
- ◇ あっという間に終わってしまって、少し寂しいです。
- ◇ 普段できないことを体験することが出来た。実際に検査、製造したものが企業に売られることを考えると初めはぞっとしたが、今思うと誇りに思う。責任を負うということがどれだけ重いことが再認識することが出来た。現場の雰囲気も良く、とても充実した5日間だった。
- ◇ 今回の実習で、自分の足りないところがたくさん見つかった。
言葉遣いやマナー、技術面ではほとんど。しかし、実習を通さなかったら、自分の弱みを見つけることが出来なかったのも、本当に実習に行けて良かった。
今後は、将来に向けて、大学で目的意識をもって勉強したい。
- ◇ 大学生活3年間の中で、一番濃密で一番疲れた2週間でした。あっという間の2週間でした。
ただ短い期間でも実習を通して、仕事を体験してみたり、社員の方と話をしてみたりと貴重な体験をすることができたと思います。
おそらく、これからの大学生活は学ぶことも遊ぶことも大きく在り方が私の中で変わっていくと思います。
インターンに参加してみて良かったと思います。
- ◇ 働くことがどういうことか少し分かった。職場では、職員の方が話しかけてくれたので、溶け込むことが出来た。
- ◇ 本当に感謝しています。インターンシップに参加して本当に良かったです。
- ◇ 今回、大石産業さんにお世話になり、専務に就職に関する話をしていただき、とてもためになりました。
- ◇ もっと実務的な作業ができる場所を選べばよかったかもしれないが、考え方が見直せたのは大きな収穫だった。
- ◇ 工場内を見学することで、製品をつくることと、その検査で精度の高いことを行っていると実感しました。信頼を得ることが重要で、それが大学との違いだと思いました。
- ◇ 行く前は不安だったが、実習先の方々がとても親切にしてくださったので、いい環境で実習できた。また、就職活動や仕事のお話を聞くことができたので、とてもいい経験になった。
- ◇ わからないことを丁寧に教えて頂き、感謝しています。
4日はさすがに短かったと思うので、期間はもう少し多かったです。
- ◇ 実習先の方が大変親切で、楽しく実習が行えた。
パワーポイントを使っただけの成果発表などは緊張したが、良い経験になった。
- ◇ アルバイトより内部の、働く人の現場に実際に触れ、貴重な経験をすることができた。一部の業務ではなく会社全体の総合的な運営を見て、企業が行っている仕事のイメージを固めることができた。また、様々な社員の方々との交流で知識を深め、価値観を広げることができた。

- ◇ いつも大学に行って勉強することも大切であるが、社会に出るにはそれ以上の柔軟な知識が必要であることを学んだ。
- ◇ この会社へ実習に来て、本当に良かったです。
色んな分野のお仕事を見学してもらいました。
そのおかげで、将来このような仕事がしたいなといった今までなかった考えが出てきたので、私にとっては非常にプラスになった実習でした。
- ◇ 社員の皆さん全員親切で、自社の良い所をアピールするだけではなく、きちんと研修生のためにインターンシップ研修の受入れを行っていると感じました。人生の思い出になること間違いありません。
- ◇ 貴重な体験が出来て良かったです。
- ◇ 実習内容は、単純作業が多く、だからこそ考えながら効率的に作業できないか検討しながら作業することが出来ました。このインターンシップでは、コミュニケーション能力の大切さを再度認識し、今後はコミュニケーション能力の向上に努めたいと考えました。
- ◇ 担当者の方達がこちらの納得いくまで、しっかりと説明していただいたおかげで、大変有意義なものとなった。
- ◇ 専攻不問の業種で申し込んだが、実際は非常に専門性が強かった。
予め実習プログラムが分かっていたら良かったと感じた。
- ◇ 多くのことを学ぶことが出来たし、会社の方々もとても親切にしてくださったので、楽しく過ごすことができた。とてもいい経験になった。
- ◇ 実習先がインターンシップを大切にしている会社で、とても充実した2週間を過ごせました。
- ◇ 楽しかった。
- ◇ 社会の厳しさとルールやマナーを学んだ。
- ◇ これからの進路を決める上で、とてもいい経験になった。
- ◇ 長そうで意外と短く感じた。
私がインターンシップで行った会社は、非常にアットホームで居心地が良かった。慣れないことも分からないことも、優しく接してくれたのでうれしかった。
緊張もしたが、最初のうちだけだった。
「会社」という雰囲気や少しでも感じ取ることが出来て良かったと思う。
就職にも興味が出てきた。
- ◇ 実際に1つの機器を完成させ、動作させることができ、嬉しかった。
この実習で、学校では詳しく学べないようなことでも、実習を通して学ぶことができ、とても勉強になった。
- ◇ 非常に緊張した中でのインターンシップであったが、指導する人が良かったおかげもあり、その内楽しいと感じるようにまでなった。実際に仕事をする時には、この時の気持ちを忘れないようにしたい。
- ◇ 実習が始まる前は、とても不安であったが、本実習は自身にとって、とても大きな経験の1つになった。実習を通じて様々なことを学べたため、本当に参加して良かったと思う。この経験を今後の人生でしっかりと活かしていきたい。
- ◇ 手当、費用についての情報が実習が始まるまで何も分からなかった。交通費が学校から会社までの費用しか出ない等、アナウンスして頂きたかった。
実習内容について、製造なのか研究・開発なのか、QCなのか分かった方がいい。(進路選択に役立つようにインターンシップ先を選びたい)
- ◇ とても社会勉強になった。
- ◇ とても大変でした。
- ◇ 私は始め、インターンシップとは工場を見学したり、座学をしたりするだけのものだと思っていました。しかし、私が体験したことは今まで予想していたものとは全く異なり、テーマを与えられてそれを調査し、実験をして結果を求めるまで全て一人で行いました。すごく大変で何回もつまづきましたが、これが達成できた時はものすごく嬉しいし、とてもためになることばかりを学ばせてもらいました。
今回、インターンシップを受けて、本当に良かったと思っています。

- ◇ 貴重な体験ができた。会社というものを知ることができた。
- ◇ 貴重な体験をさせていただいて、とてもタメになりました。ありがとうございました。
- ◇ 責任感を持って働けたと思う。知らない企業だったが、とても興味を持てた。
今回の経験を今後の何事にも活かしていこうと思う。
- ◇ 5日間という短い期間での実習だったけれども、職場の先輩たちは皆優しく頼りがいがあり、多くのことを学ばせていただいた。
今回の経験を活かし、就職先を選びたいと思う。
- ◇ 工場での勤務で、パートの方と一緒に仕事をした。欲を言えば、もう少し専門知識を持っている方が多く、質問しやすい環境があれば良かった。
私の配属先は、雰囲気明るく、周りの方と仲良くなれて嬉しかった。
本音を言うと、社会の厳しさというのはあまり感じられなかったが、安全に対する考えや製品の品質に対する考えの大切さは分かった。
あと、勝手な意見だが、交通費全額負担はきつかった。
- ◇ 会社の事業内容が多少複雑だったため、ほとんど座学で実習はやらせてもらえなかったが、溶接や切断等の実習はできた。
会社の人が行った溶接は、ロボットがしたのかと思える程、正確できれいだったので驚いた。また、そこに長年の経験を感じることができた。
- ◇ 最初は、今回のインターンシップでは無事に問題なく行動できるか、少しだけ心配だったが、実習では担当の方達の話やこちらの質問の答えなど、とても分かりやすく教えて頂き、また今回は是非学びたかった業種だったので、その分野でも詳しく知りたい部分を知ることが出来て良かったです。
- ◇ これからの就職活動や就職してからの仕事でも、このインターンシップで学んだことを活かして頑張りたいと思う。
- ◇ 今回とても貴重な体験を積めたので、インターンシップに参加出来て良かった。
- ◇ 実習中、失敗があったが、考えて原因を発見し、再度やり直して成功しました。ただし、会社の中では失敗をさけたほうがいいと思います。コストと利益がつながっているため、失敗しない方がいいです。
- ◇ インターンシップを体験してみて、仕事の内容については6日間じゃ分からないことも多く、理解しきれませんでした。今年入社したばかりの人や何十年も会社で働いている人の話はとても勉強になることを多く聞けたので、参加してとても良かったと思います。
- ◇ 普段の大学生活では得ることができない体験をしたので良かった。
他校の学生と一緒にインターンシップの期間中行動するので、お互いに情報交換や他校の学生の動きを見ることで新しい発見ができた。
- ◇ 初めて受けるインターンシップで緊張しましたが、受入れ企業の方がとても親切で安心して学ぶことが出来ました。
私は多くの工業用機械や作業を実際に見学したのち、体験できたことが心の中に深く残りました。
大学生のうちに体験すべき、重要な経験だと思います。
- ◇ 今回のインターンシップでは、さまざまなことを学ぶことができました。
大学の講義では学ぶことができないことばかりです。例えば、設計から製造までの流れを身を持って知ることができました。さらに、AutoCadをある所まで使用できるようにもなりました。実習では、高声電話機という物を作りました。
始めは自分達に物がきちんとできるか心配でした。でもその心配は不要でした。予定通りに物が完成し、動作も正常に働きました。
インターンシップでは、物を作る楽しさと喜びを再認識できました。(株)カンノ製作所の方々には本当にお世話になりました。このインターンシップに参加出来て本当に良かったです。
- ◇ 大変だったが、実りある時間だったと思う。
- ◇ 慣れていないこともいろいろしたので大変でしたが、とても勉強になったと思います。
- ◇ 社員の方々の対応が良く、スムーズに進めることが出来た。

- ◇ 今回実習に行けて大変良かったと思います。社会人は本当に大変です。また、お金の大切さ、働くことの素晴らしさを知りました。
仕事はやりがい、人の為に自分がどのように役立てるかをしっかり考えなければならぬと思いました。
私は、まだまだ勉強不足だと反省しました。社会人になるまでにしっかり勉強し、人間関係、言葉遣い、字の練習、人の話をじっくり聞くことを忘れずに毎日過ごそうと思います。
実習では、上司の方、お客様等たくさんの人と触れ合え、大変勉強になりました。
インターンシップの機会を与えて下さり、感謝しています。
- ◇ 本を電子化する工程は、学校では学べない機会でした。
- ◇ 最初は不安がいっぱいでしたが、皆さん気軽に話してくださって、とてもインターンシップを受けやすい環境でした。社会人の働きを見て、学生のうちにしかできないことをやろうと思いました。
- ◇ 最初は、自分に任せられた仕事内容が分からず、どう動いていいか分からなかったが、担当の方や他校の実習生の方にも多くのことを教えてもらった。
色々な所にも見学させてもらい、今まで知らなかった北九州市のことを改めて知ることが出来て、良い経験になったと思う。有意義な2週間だった。